

いわみざわ



発行所 陸上自衛隊 隊地会
岩見沢市日の出台2-7
印刷所 北海道立福祉村
空知郡栗沢町最上350
TEL (0126) 45-2721

団長訓練検閲に向けて着々と



第十二施設群は十月下旬の団長訓練検閲受閲に向け、検閲課題である「防衛支援」の基本となる課目を重点に練成を開始、第三四二施設中隊の訓練検閲を皮切りに、偵察班、第三三六施設中隊の検閲をこれまでに終了した。

六月月上旬掩体構築競技会及び偽装競技会を実施し、部隊の練度向上を図った。競技会方式でのこの種の課目を実施するのは久しぶりであったが、各中隊とも優勝を目標し準備訓練を重ねるとともに、競技会当日においては、創意を凝らし競技会に望んだ。掩体構築競技会に当たっては、いかに「迅速・効率的に、安全に」構築できるか、また偽装競技会においては、いかに「迅速正確、完全に」偽装できるかを焦点に競い合った。

結果として、掩体構築は第三三七施設中隊、偽装は第三三五施設中隊の優勝であったが、その他の中隊も練度としては格段の進歩向上を果たした。

群は、今後第三三七施設中隊、第三三五施設中隊、衛生班の訓練検閲を実施するとともに、八月下旬及び九月下旬の二度にわたる群総合訓練を実施し、団長訓練検閲に向け「熱意と創意」をもって邁進していく。

(第三科長 角田三佐)



新隊員前期教育

第十二施設群では、三月二十八日から六月十六日までの間、四月新隊員十九名の前期教育を実施した。

最近、景気回復傾向が伝えられていくが、それ以前からの低迷の影響を受けて約三・五倍の競争率を突破しての入隊である。

四月七日、駐屯地体育館で行われた入隊式には、父母、関係者約百名が出席して前途洋々たる隊員の門出を祝った。

も考えられ、実際補射が数名出たが最終的には全員合格した。

二十八日から三十日にかけて、北大演習地区において

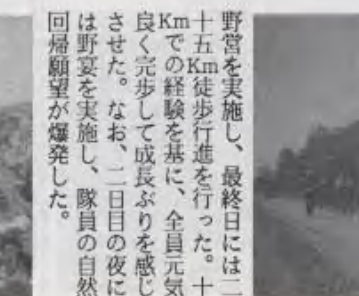


翌日の武器授与式で緊張した雰囲気の中、生まれて初めて各人の銃を手にした。

二十六日、孫別演習場において十Km徒步行進を実施。これをクリアすれば無事ゴールデンウイークに突入する。はじめの四Kmでは余裕を見せていたが後半の四Kmで洗礼を受けた。足を痛がるものが多数。

五月七日、ゴールデンウイーク明け全員無事帰隊。浮橋訓練の見学と戦車体験試乗では、部隊と触れ合う機会を持った。

五月二十八日検定射撃を実施、諸事情により教習射撃と同日実施となった。経験不足



野営を実施し、最終日には二十五Km徒步行進を行った。十Kmでの経験を基に、全員元氣良く完歩して成長ぶりを感じさせた。なお、二日目の夜には野宴を実施し、隊員の自然回帰願望が爆発した。



六月十一日の修了検閲で、今回学んだ基本教練、戦闘訓練の成果を教育隊長、幕僚、中隊長の前で披露した。

そして十六日、修了式を行って全員無事修了。後期教育への決意を新たにしました。(担当教官 村上二尉)

自衛隊退職者雇用協議会
岩見沢支部

事務局：岩見沢商工会議所内
支部長：勝井祐輔
TEL：0126-22-3445

千葉電気工事株式会社
代表取締役 千葉嘉男

岩見沢市東山町22番地71
電話(0126)24-4567番

近江建設株式会社
特定土木建築許可一級建築士事務所

取締役会長 近江章
代表取締役社長 近江雅章

本社 岩見沢市4条東17丁目48番地 電話 23-3026
FAX 25-6582
支店 札幌市中央区北1条西20丁目 電話 643-2689
FAX 4F 643-2616
支店 三笠市香松町1丁目374 電話 2-3179

隊友会岩見沢支部

平成八年度

岩見沢支部定期総会開催

岩見沢支部（支部長 長崎進）は五月二十六日、市内のホテルサンプラザにおいて八年度の定期総会を行った。総会参加者は会員百七十二名中五十五名、委任状提出者百十名合計百六十五名である。



隊友会岩見沢支部総会

総会は、十四時きっかりに開会宣言で始まり、国歌斉唱の後、物故隊友及び殉職隊員に対する黙祷を行った。続いて長崎支部長から七年度の物故隊友に対するお悔や

及び会計決算報告があった後、幹事の松本忠雄氏から会計監査の結果が報告され承認された。

次に、八年度の事業計画（案）及び会計予算（案）が提案され、一部定義について質問があったが浅沼事務局長の適切な回答により了解され、いずれも事務局原案どおり承認された。

最後に田代善信副支部長が「長い時間、真面目にご審議いただき、有り難うございました。新年度は、只今決定しました諸行事の実行に事務局一同一所懸命努めますので皆様一人ひとりのご協力とご参画をよろしく願います」と、

みという言葉が申され、また、退職者未加入者の加入促進を強調された。更に札幌支部連合会の今後の施策や岩見沢駐屯地の近況を報告された。早速、議案審議に入り事務局から七年度の事業実施報告

閉会の挨拶をされ、定期総会の全部を無事に終了した。続いて、各種表彰が行われた。受賞者は次のとおり。

- 一 支部長特別感謝状
笹 豊秋氏 柿村謙治氏
- 二 支部長表彰
武田敬二氏 松崎一美氏
佐藤陽治氏 堀井純平氏
伊藤孝三氏 丸山勝司氏
加藤孝三氏 黒田 悟氏
川崎忠夫氏 二之宮宏氏
櫻井博俊氏 佐藤利光氏
坂西久男氏 佐藤整次氏
- 三 札幌支部連合会長表彰
渋谷 隆氏 佐藤英治氏

十分間休憩後、会友の最も関心のある「社会保険の知識」と題して会友の福田忠吉氏による講演が始まり、全員終始熱心に聴講し、意義ある勉強会となった。



続いて、十六時三十分から全員で記念撮影を行った後、懇親会が始まった。

はじめ十三名の方々のご来席を賜り、会員六十四名と共に総勢八十二名が出席して盛大に行われた。

先ず最初に、黒田悟副支部長の開会の挨拶の後、市長代理の氏家収入役が「この冬の豪雪に際して、自衛隊の皆様には災害派遣で出動していただき、また日頃大変お世話になっており改めてお礼申し上げます」と、能勢市長になり代わって感謝のお言葉があり、また宮脇業務隊長からも温かいお祝いのお言葉をいただいた。次いで、来賓の方々一人ひとりについて紹介された後、安藤顧問の「芽杯」の発声で懇親が始まった。

久しぶりにも会した方もあり、語り合っ顔もいとも明るく終始和やかに歓談され、筆者の心も感慨一入であった。「聞いてくれる友がいるから語りた」「喜びは人に話せば倍になり、苦しみや悩みは半減する」「だから友は人生の宝である」

宴も次第に盛り上がり、事務局で企画したルーレットアロー抽選会やカラオケで最高潮に盛り上がり、時あたかも終宴五分前、最後の締めは北田忠憲顧問の指揮で合唱、それぞれ青春時代にタイムスリップしての声高らかに見事な合唱であった。

かくして八年度の定期総会及び懇親会は、事務局が予期した以上の成果を得てお開きとなったのである。

岩見沢支部は、年々加入者が増え、また会友の参画意識も向上し、これからも皆で切磋琢磨し、健康で有意義な支部として、活性化していくよう会員各位のご理解とご支援を重ねてお願いします。

親睦ゴルフ大会開催

桜花満開やかな五月晴れに恵まれた五月二十日、北海道リンクスCC（美幌市峰延）において、現職隊員とOBのゴルフ大会が行われた。

本企画は、常日頃の交流の中で、一昨年か双方のゴルフ愛好者が口伝いにPRし、この度、駐屯地司令のお許りでその第一回が行われた次第である。

参加者は、駐屯地司令の多田一佐以下現職九名、OBは安藤富夫顧問、会員の谷藤弘氏、田代善信氏、山村晴雄氏、田代繁之氏、坂合孝昭氏、細川金治の七名、計十六名の四組である。開会式は司令業務室の山口清広報班長の司会進行で行われ、最初に多田紀幸駐屯地司令から、本企画のいきさつと「OBの持株にはいつも大変お世話になっており、有り難うございます。今日は、このコンペを通じ楽しく交流したいと思っております。よろしく願います。」と、日頃の感謝を含めて挨拶された。

またプレーを通じ、現役とOBとの心の触れ合いができて「お互いに次回も是非やりましょう」と堅い握手をし「心に満足」の土産をもって明るい笑顔で帰路についた。

結果は、十八ホール、ストロークプレー（ダブルベリア方式）で採点し、次のとおり。

優勝 現役 山口 清氏
優優勝 現役 大沢 栄氏
第一位 現役 片岡正勝氏
第二位 現役 田中 均氏
第三位 現役 池田哲夫氏
やはり現役は強い。次回には多くの会員の参加を期待し、OBも現役時代の不屈の精神を発揮しようではありませんか。

移された。続いて駐屯地ゴルフクラブの田中均部長からルール及び諸注意事項があり特に安全管理が強調された。

五月とはいえ、昨日までは低温が続いて桜や梅の花も三分から五分咲きだったが当日は、太陽も顔をだしほぼ満開となり、プレーには絶好の日和となった。

九時二十九分びつたり第一組の一番袖巻を引いた山村晴雄氏の一番ホールのティショットが見事に決まり、ナイスショットの甲高い声援を受けプレーが開始された。

コース沿いに桜や山つつじが咲き誇り、新緑の鮮やかなグリーンには、心地良い風に煽られ桜の花びらが一つまた一つと落ち、メーカーと間違える景況で何とも風流な感じであった。

またプレーを通じ、現役とOBとの心の触れ合いができて「お互いに次回も是非やりましょう」と堅い握手をし「心に満足」の土産をもって明るい笑顔で帰路についた。

結果は、十八ホール、ストロークプレー（ダブルベリア方式）で採点し、次のとおり。



オール電化マンション
レジエンド
エ
イ
連絡先: 岩見沢市6条西7丁目
☎ 22-0087

総合商社
君島商會
株式会社
☎022-4613
☎22-5813
☎45-2068
☎22-4585
☎22-6434
☎22-7861
☎24-8360
☎25-4840

はしもと商事株式会社
人材派遣業・メンテナンスに関する事なら
親切・丁寧・確実
岩見沢市駒園5丁目6
TEL・FAX (0126)
22-5546
薬沢営業所/薬沢町北本町7番地
☎(0126)45-3920

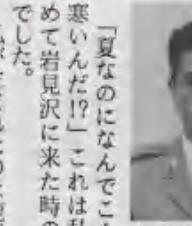
みんなの広場



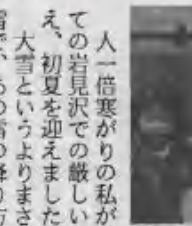
第336施設中隊 妻 2番 夫人 ますみさん



第302坑道中隊 2番 藤瀬 和則



第335施設中隊 2番 楠木 辰美



本 部 管 理 中 隊 妻 2番 夫人 朝代さん

私達は昨年八月に、南国鹿児島から岩見沢へ引っ越ししてきました。

初めての土地で不安もありましたが、涼しい夏も経験できて、生活にも慣れてきていきました。しかし、年の瀬を迎える頃から、北海道の厳しい冬を段々と実感してききました。スノーダンブやスコップを買って、大雪の覚悟はしていったつもりでしたが、外にでて車の屋根に雪が1mぐらい積もっていた時は、大変驚きました。

過去何年も経歴管理で希望し続けてきた憧れの北海道転居がやっとかない渡道して来たのが昨年八月。九州とは違って短い夏が去り秋を迎え、そろそろ冬支度を始める時期がやってきました。

「夏なのになんでこんなに寒いんだ!?」これは私が初めて岩見沢に来た時の感想でした。

人一倍寒がりの私が、初めての岩見沢での厳しい冬を終え、初夏を迎えました。

いろいろな人からアドバイスをしてもらったのは非常に疑わしく思えることばかりであった。九州での知識は少なからずあったものの、実際に体験した事もないので無理もない話である。

北海道に来たばかりに藤瀬家は赤字となり、多大な出費が重なり生活が苦しくならなかったために小遣いに影響が出た。家族の長靴に始まり、コート、リフトウェア、スキー、リフト代等家族三人分、角スコップ、ママさんダンブ、極めつけが軽四駆の購入。

私は少し勘違いをしていて、雪一色の状態が一年の内半分は続いていると思っていました。十月くらいから、もう積もると思っていた私にとって期待はずれでした。しかしそう思っていたのも束の間、正月休暇で帰省するときに一日遅れていれば「大雪で帰れなかつた」というほどの大変さでした。

雪かきは毎日毎日雪の量も増え、時間も長くなりあんなに広く感じていた雪捨て場も高くなって登り道になってしまいました。もう、息を切らしながらの作業は辛いものになっていました。慣れない生活で疲れもたつたか、家族三人とも熱を出して寝込んでしまったこともありました。九州では、身内が近くに住んでいたのが、今年は近所の方の力を借りて乗り分けました。親のありがたみも分かったし、近所の方の親切も身にしみました。

編 験 体 雪 力 ド

雪にもすっかり慣れた頃には、もうこのドカ雪にはうんざりでした。

そんな中スキーも始め、滑る快感を知ることができました。ドカ雪のおかげでいつも綺麗で雪の上を滑れました。岩見沢に来て約一年になります。これからも楽しい思い出をたくさん作りたいと思います。

また、雪道の運転に慣れていないので、車で遊びに行くことも出来ず、毎日子供と家の中でばかり過ごしていました。しかし、子供(慧哉一歳)は外に出て雪の中で遊んでいますが、しばらくすると手や顔が氷のように冷たくなって泣いて帰ってきます。

でも、官舎の前を毎日除雪してくれ、自衛隊のグレーダや、ホイローダ、街の除雪車を見るのは、とても嬉しい事なのです。

今年はずが遅く、なかなか暖かくなりませんが、初めての北海道の冬を例年がないドカ雪でも過ごせたことで、冬の生活に自信が持てました。これからは、北海道の自然と雪の世界を楽しんで、家族が元気で過ごせるように頑張っていきたいと思えます。

例年になく降積雪のため、毎日の雪かきが日課となったお陰で右腕が腱鞘炎にかかり、現在も痛くてたまらない。こんなに苦労したので次からはもう大丈夫?」

四年振りに体験入隊

駐屯地では四月二十四日から二十六日までの間、第三三五施設中隊の担当で四年振りの隊内生活体験を実施した。二十四日午前十時、市内の警備会社サン・パブリックの社員三十名は、到着とともに教官側の予想以上に手際よく戦闘服・半長靴に着替え、午後には早速基本教練、停止間及び行進間の動作を訓練し、一日一杯整齊かつ斉一した動作の習得に励んだ。

二日目は、社長の視察を受け、先任社員の指揮のもと三十名が一致団結、整齊と行進する中、社長に対し「頭右」を実施し訓練の成果を遺憾なく発揮した。続いて、演習場において約6kmの班対抗オリエンテーリング、午後は体力検定を実施し、チームワークの発揮とともに体力を振り絞った。夜は懇親会、天幕露営と疲労も忘れ相互の交流を深めた。



(担当教官 宮川三尉)

第9回司令杯少年野球

駐屯地では六月八日、九日、十五日、十六日の四日間において「第9回司令杯争奪少年野球大会」を実施した。

開会式は、出場十一チームと応援の家族、関係者が集まり駐屯地野球場で行った。多田司令が「日頃の練習成果を十分発揮して、元気良くフェアプレーの精神で頑張ってください」と挨拶をして、続いて北本町青空子供会の能登睦雄君が「選手一同は優勝を目指して最後まで頑張ります」と力強く宣誓をした。

爽やかな青空のもと熱戦を繰り広げ、若松町子供会が昨年に続いて優勝した。



結果は次のとおり
優勝：若松町
準優勝：第二区会
第三位：幌向南

“終身保険の充実保障。”

- 三大疾病 (リビングニューズ)
- 余命6カ月前死亡保険支払
- 通院特約

東邦生命

担当 深 沢 隆 子 (内線327)

安心とゆとりのプラン

協栄生命 LL・ワイド 1500

更新型

余裕資金を上手に活かして大型保障

協栄の保険料還元制度をご利用下さい。

定期特約付終身保険

協栄生命保険株式会社

500人収容の大宴会場から中小宴会場
でお待ち申し上げております

ホテル サンブラガ

岩見沢市4条東1丁目 ☎(0126) 23-7788

昇任おめでとう

【第十二施設群】

三等陸佐へ

群本部

一等陸尉 傳法 和美

第三三七施設中隊

二等陸尉 森杉 荘司

群本部

三等陸尉 溝江 武雄

同 藤原 恒雄

第三三五施設中隊

三等陸尉 西川 徳治

第三三六施設中隊

三等陸尉 松平 実

第三二二施設器材中隊

陸曹長 長堀 信光

陸曹長へ

本部管理中隊

一等陸曹 浦木 実

第三一二施設器材中隊

一等陸曹 山田 利文

一等陸曹へ

本部管理中隊

二等陸曹 古賀 博

同 松田 務

第三三五施設中隊

二等陸曹 長野 滋博

二等陸曹へ

本部管理中隊

三等陸曹 宮崎 丈生

第三三五施設中隊

三等陸曹 四関 英則

同 奥田 浩一

第三四二施設中隊

三等陸曹 清水 護二

第三一二施設器材中隊

三等陸曹 丹部 弘勝

三等陸曹へ

本部管理中隊

陸士長 家常 崇

同 正野 直人

第三三五施設中隊

陸士長 早坂 忍

第三三六施設中隊

陸士長 菅原 寿男

同 下川 和之

同 桑原 準

第三三七施設中隊

陸士長 三好 博之

第三四二施設中隊

陸士長 中上 治

【業務隊】

一等陸尉 鳥村 昭彦

二等陸尉 中田 賢二

陸曹長へ

行(二)三級へ

行(二)三級へ

同 鎌倉 守

同 伊藤 啓二

【会計隊】

一等陸尉 山上 典之

二等陸尉 吉田 輝男

陸曹長へ

一等陸曹 野沢 忠司

陸曹長へ

一等陸曹 藤井 清孝

二等陸曹 加藤 博文

三等陸曹 長山 和実

陸曹候補生指定

【第十二施設群】

本部管理中隊

陸士長 菊池 覚

第三三六施設中隊

陸士長 清水口通泰

第三四二施設中隊

陸士長 浦東 勲

曹候補士入校指定

【第十二施設群】

第三三五施設中隊

陸士長 甲斐 隆之

同 大山 充

第三三七施設中隊

陸士長 佐伯 洋一

第三一二施設器材中隊

陸士長 阿曾 史章

同 金戸 一也

同 金戸 一也



第三一二施設器材中隊
三曹 飯野 和男

長女 七海ちゃん
4月24日

こんにちは赤ちゃん



第三三五施設中隊
二曹 山口 和人

二男 広大くん
4月8日



本部管理中隊
三曹 竹本 貴光

長女 詩乃ちゃん
5月11日



第三三六施設中隊
士長 清水口通泰

長男 雄太くん
4月28日



業務隊
技官 佐藤 勉

長女 瑠衣ちゃん
5月29日



第三〇二坑道中隊
二曹 河津 信次

長男 佑哉くん
5月12日



業務隊
三曹 澤原 智
邦恵さん

6月1日



第三一二施設器材中隊
士長 松永 雅章
真優美さん

4月29日



第三三七施設中隊
三曹 増田 弘幸
ひとみさん

6月29日



本部管理中隊
三曹 猪岡 敦
有香さん

6月10日



本部管理中隊
三尉 千葉 剛基
就職先
(株)松村

4月26日付




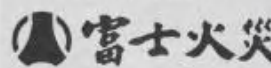
第三三六施設中隊
曹長 高橋 政次
就職先
北海道ハイウェイサービス

4月20日付


永年の勤務
ご苦労様でした

おしゃれの店
洋品の **マルカワ**
高橋 邦夫
岩見沢市3条東1丁目 ☎ 221224


株式会社 **本堂建設工業**
本社 〒068-21 TEL 010267-2-7300
三笠市岡山359番地1 FAX 01267-2-5858
札幌支店 〒003 TEL 011-861-1381
札幌市白石区本通り南1の8 FAX 011-865-5034
石狩支店 〒061-32 TEL 0139-73-3111
石狩市花川南1条1丁目 FAX 0133-73-0757

安心しっかり
愛車もしっかり
車検費用積立プラン
 **富士火災**
担当 松浦直樹
岩見沢支社 TEL23-5142

宝石 創業88年 貴金属
防衛庁共済組合岩見沢支部契約店
(株)太田時計眼鏡店
岩見沢市1条西4丁目
TEL 0126 3353 3354

人としての
時代としての
モニュメントを大切に
 有限会社 **渡辺石材工業**
■本店 〒068 岩見沢市8条東1丁目
TEL(0126)25-2545・FAX(0126)23-4567

二人の時間を刻みたい

Iwamizawa
Heiankaku
Phone. 0126-23-4581 FreeDial. 0120-201143